

## I 「経済動向アンケート調査」の目的について

地域の産業の状況や経済動向について、一定時期ごとに変化の実態を迅速かつ的確に収集・提供することを目的に全国商工会連合会が実施している「中小企業景況調査」については、過去に本会も調査対象地区として管内10事業者の調査を実施していたが、現在は調査対象地区から外れ、実施していない。

また、調査を実施していた当時においても、調査対象件数が4業種10社程度の過小なサンプル件数であったことから、当地域の経済動向を的確に表わすものとは言い難いものであった。

そこで、当商工会において、地域の実情に即した情報の収集・分析を実施し情報を発信する。当調査は、当地域の小規模事業者がそれらの情報を持続的な発展に役立ててもらうことを目的とする。

### 1 調査時期

- ・平成29年10月

### 2 調査方法

- ・当商工会会員事業者に対して調査票を郵送した。

### 3 アンケート調査数

- ・送付事業者数：600件
- ・回答事業者：162件
- ・回答率：27%







### 4 景況調査に分析方法

景況調査はDIを算出して行った。また、各分析値は、群馬県商工会連合会が実施している「中小企業景況調査報告書」と比較し、県内状況と当地域の状況との差異について分析を行った。

※ DI…Diffusion Index (ディフュージョン・インデックス)。企業の業況感や設備、雇用人員の過不足などの各種判断を指数化したもの。当アンケートのDIは下記の計算式にて算出した。

$$DI = (\text{第1選択肢の回答社数構成百分比}) - (\text{第3選択肢の回答社数構成百分比})$$

凡例

DI 値	100.0 ～ 30.1	30.0 ～ 10.1	10.0 ～ ▲10.0	▲10.1 ～ ▲30.0	▲30.1 ～ ▲60.0	▲60.1 ～ ▲100.0
表示						
内容	快晴	晴	薄曇	曇	雨	大雨

## II 当地域の総評

群馬県全域と比較した当地域の景気動向は、やや低調な景気動向であると言える。業種別に見ると、製造業・サービス業の景況感に差はないが、建設業・小売業は15ポイント以上低い数値となっている。

## III 経済動向調査分析

### 1 売上高（完成工事高）にみる各産業DI値（前年同期比）

















#### (1) 7月～9月の概況

- ・群馬県商工会連合会の「中小企業景況調査報告書」によると、平成29年7月～9月における各産業の売上高（完成工事高）のDIは、製造業：6.0、建設業：▲11.6、小売業：▲34.1、サービス業：▲18.9となった。前期（平成29年4月～6月）と比較し製造業は上昇が見られたが、建設業は横ばい、小売業は大幅な下落となり、サービス業については下降となった。
- ・中之条町商工会の「経済動向アンケート調査」においての同DIは、製造業：5.0、建設業：▲31.0、小売業：▲52.2、サービス業：▲19.3となっており、県全域と比較すると、製造業・サービス業はほぼ同値、建設業・小売業は大きく下回る結果となっている。

#### (2) 10月～12月期の見通し

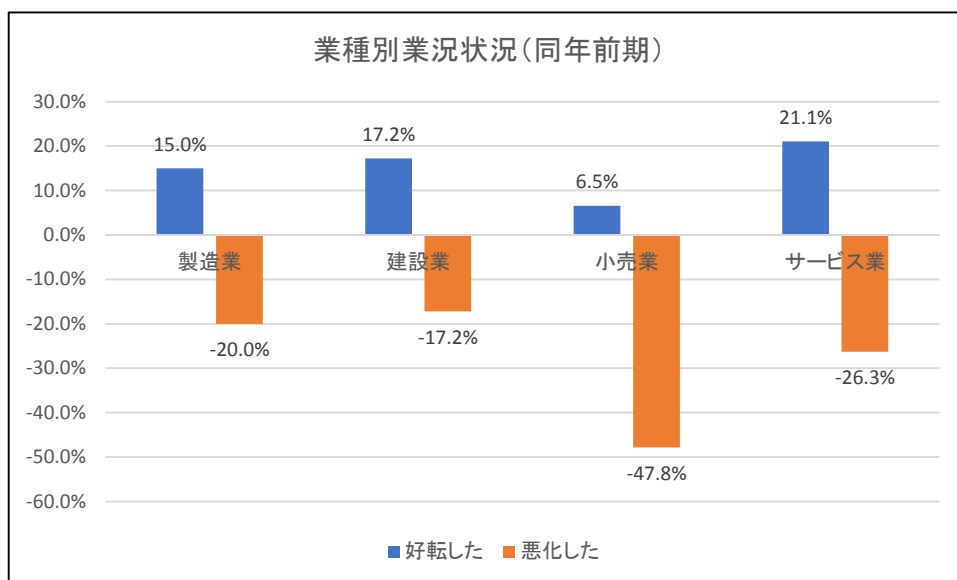
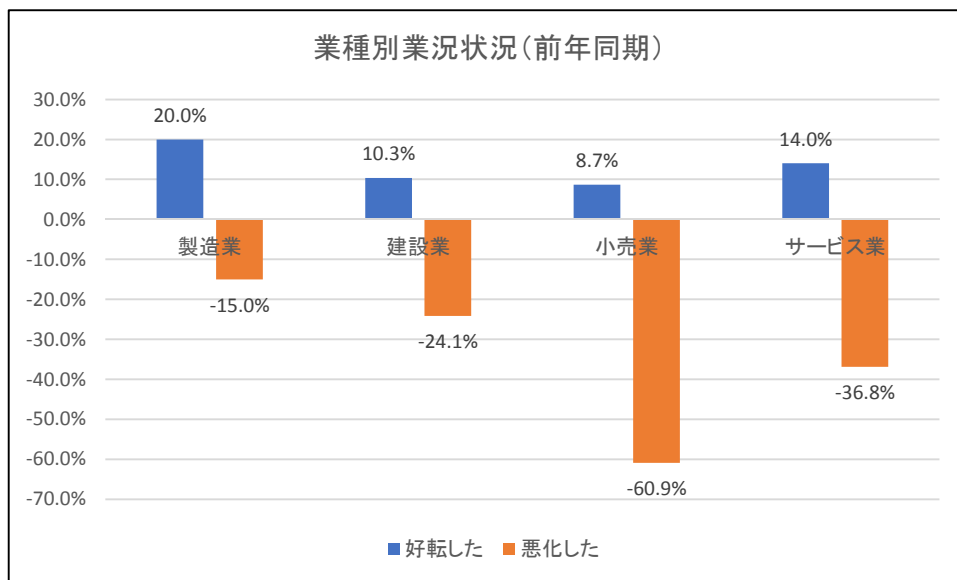
- ・群馬県商工会連合会の「中小企業景況調査報告書」によると、来期（平成29年10月～12月）の予想売上高（完成工事高）のDIは、製造業：3.0、建設業：▲30.8、小売業：▲15.8、サービス業：▲9.4となっており、前期（平成29年4月～6月）に行った来期（平成29年7月～9月）の予想と比較し全業種において下降が予想されている。
- ・中之条町商工会の「経済動向アンケート調査」において、今期（平成29年7月～9月）と比較した来期（平成29年10月～12月）の業況予想は、製造業：▲10.0、建設業：▲10.3、小売業：▲43.5、サービス業：▲17.5となっており全業種がマイナスの値である。

<地域の景況（売上）天気図（前年同期比）>

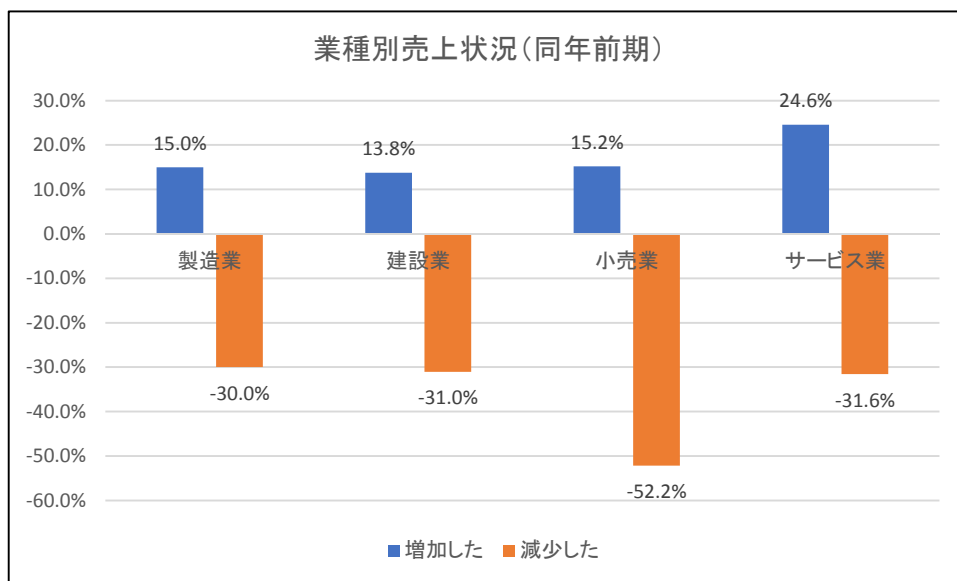
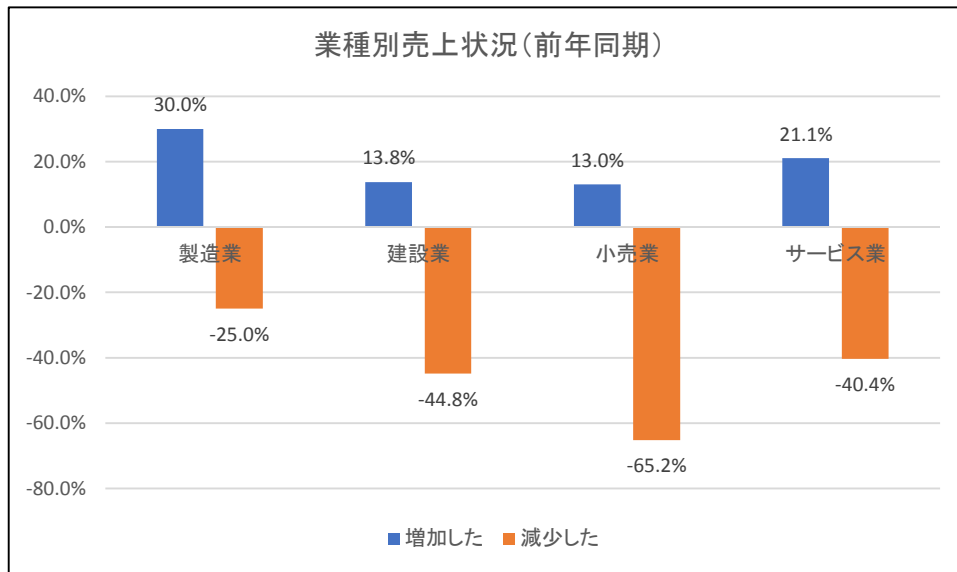
	7月～9月の概況		10月～12月の見通し	
	群馬県全域	当地域	群馬県全域	当地域
製造業				
建設業				
小売業				
サービス業				

(3) <当地域の7月～9月の概況>

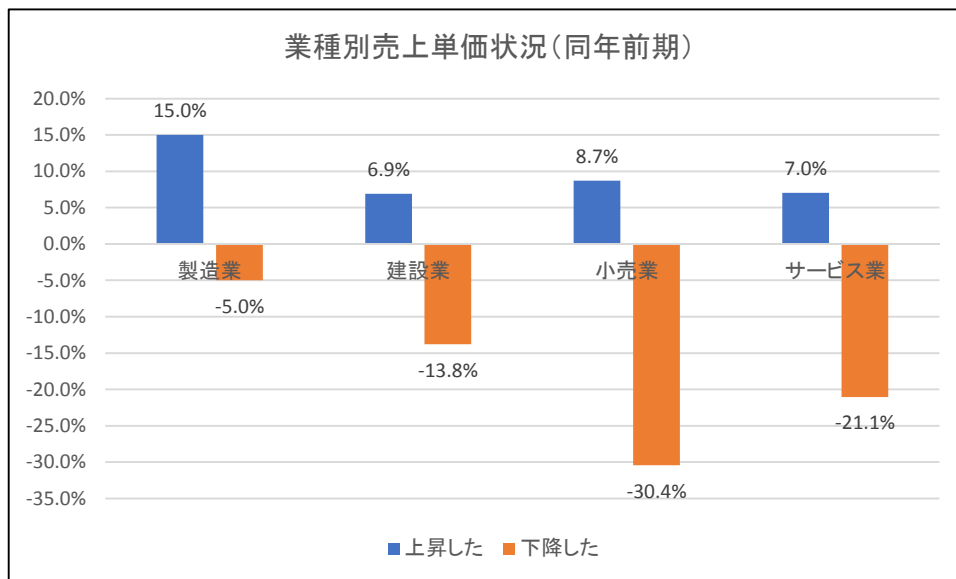
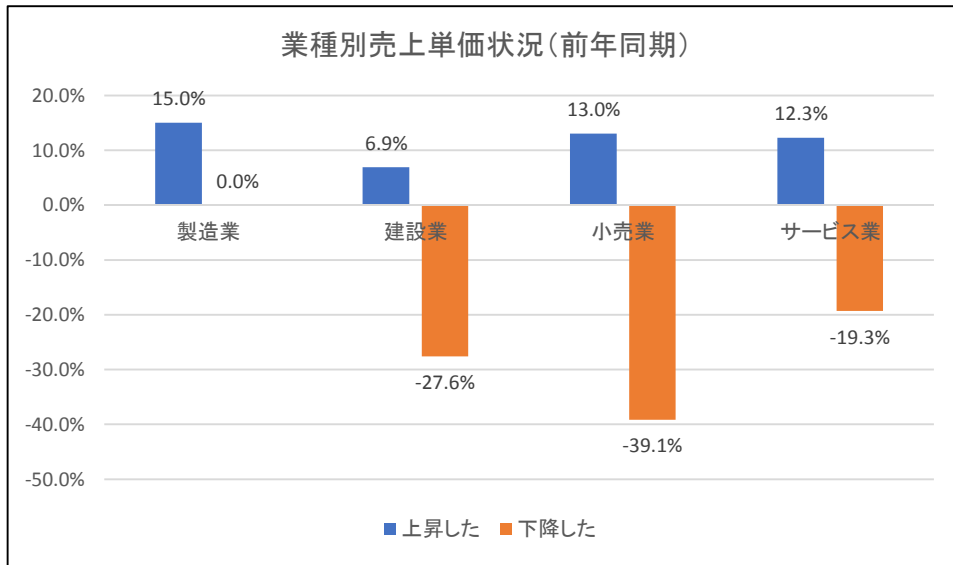
① 業況



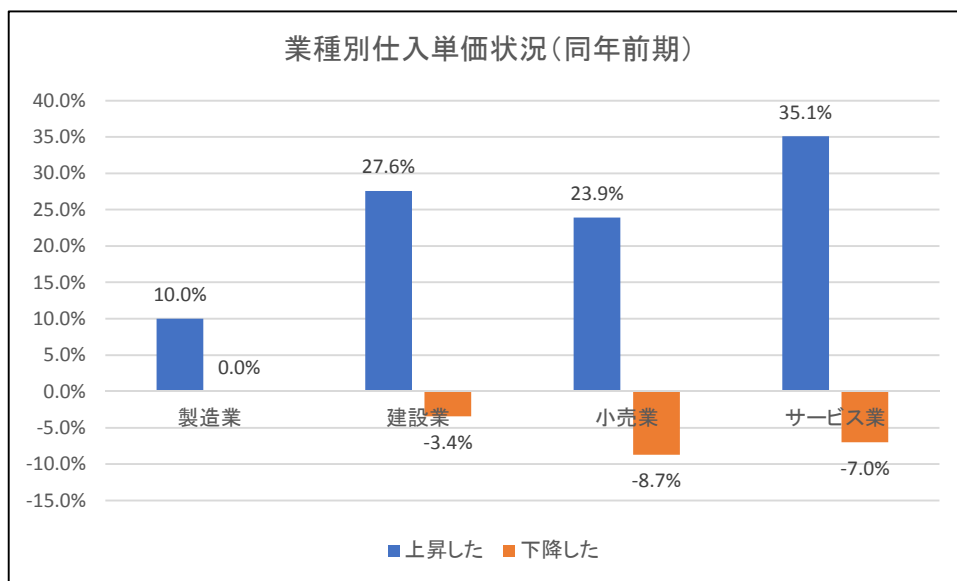
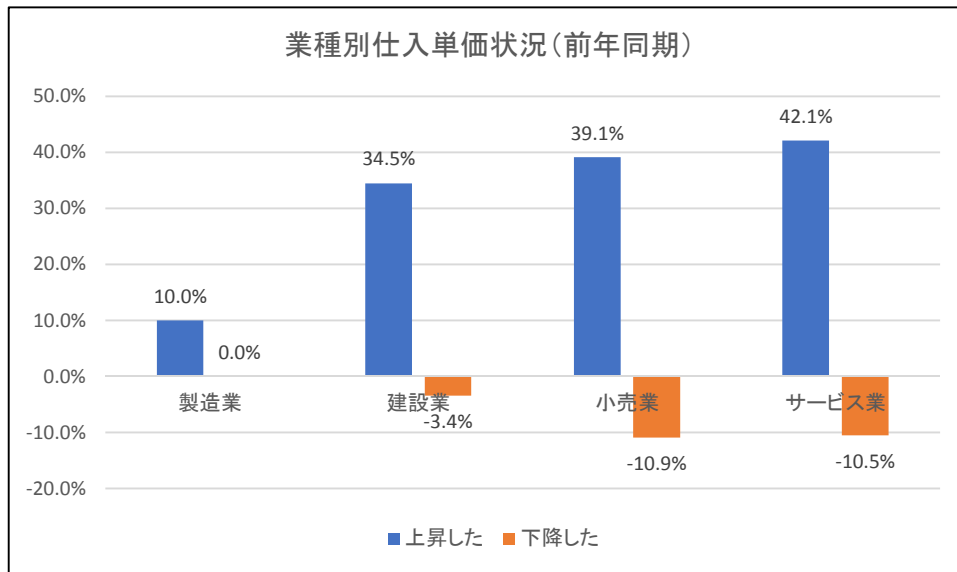
② 売上高（加工額・完成工事額・売上額・収入額）



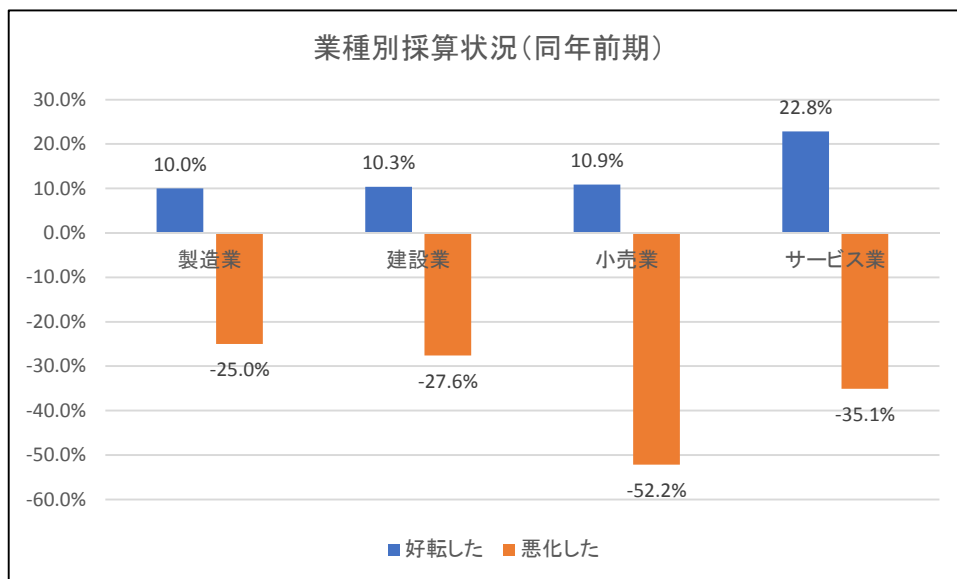
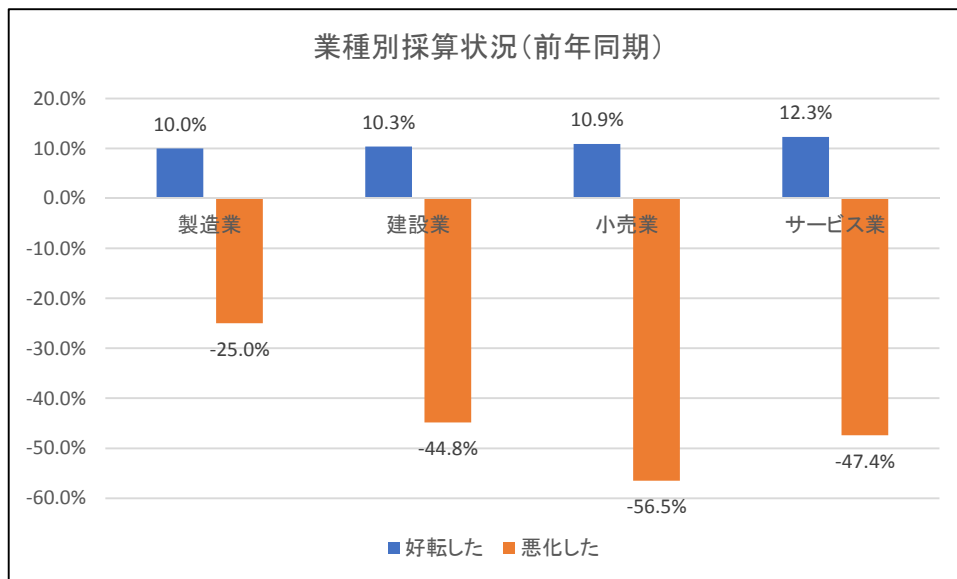
③ 売上単価（加工単価・受注額・客単価）



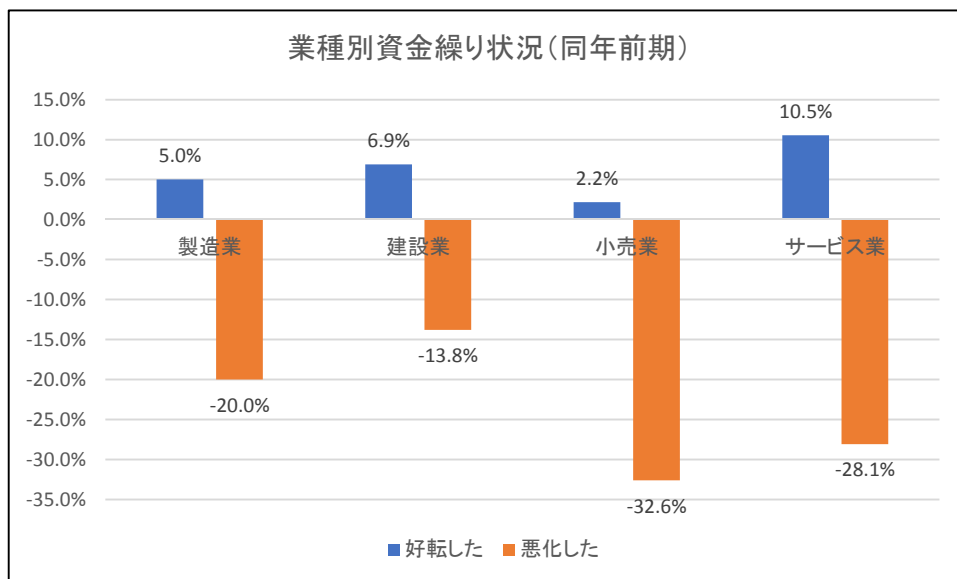
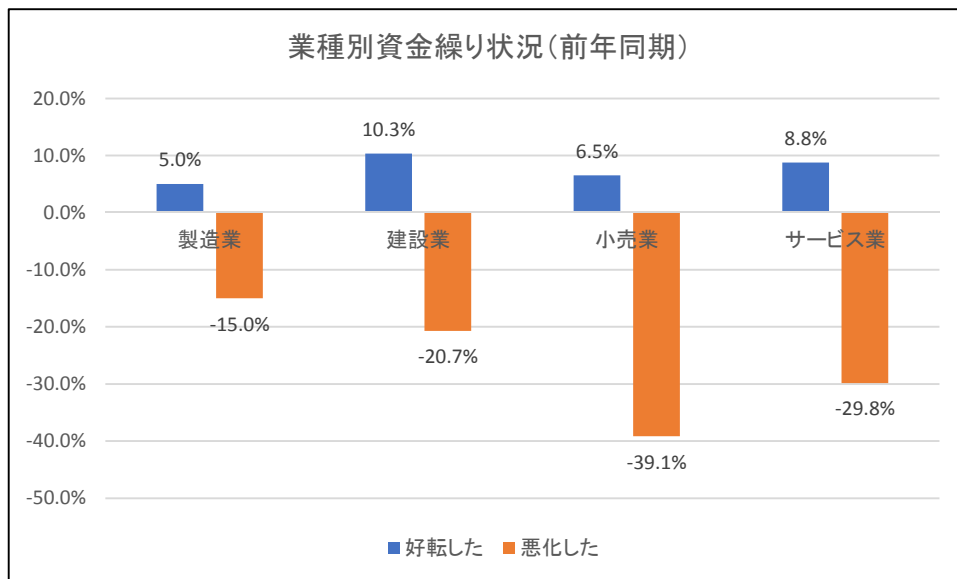
④ 仕入単価（原材料仕入単価・商品仕入単価）



⑤ 採算（経常利益）



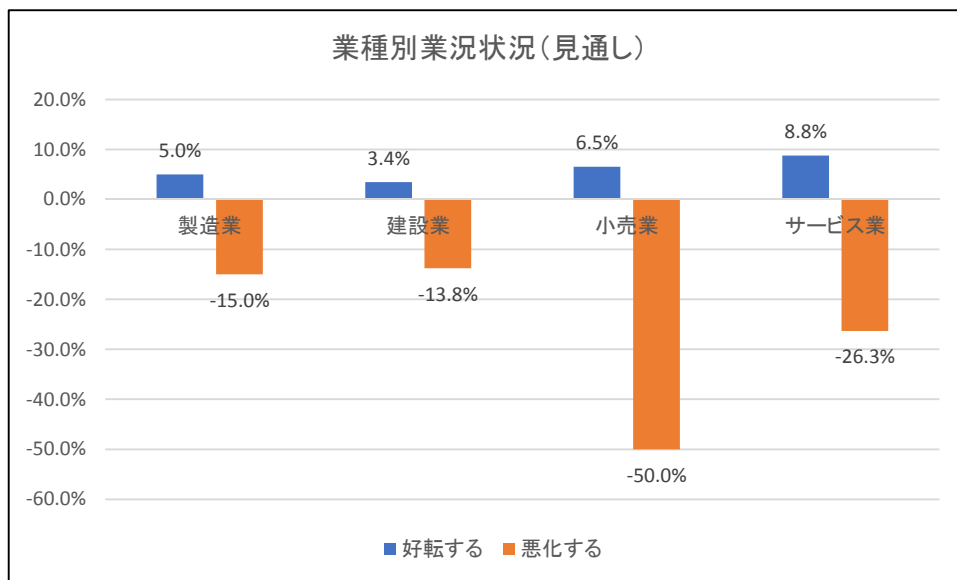
⑥ 資金繰り



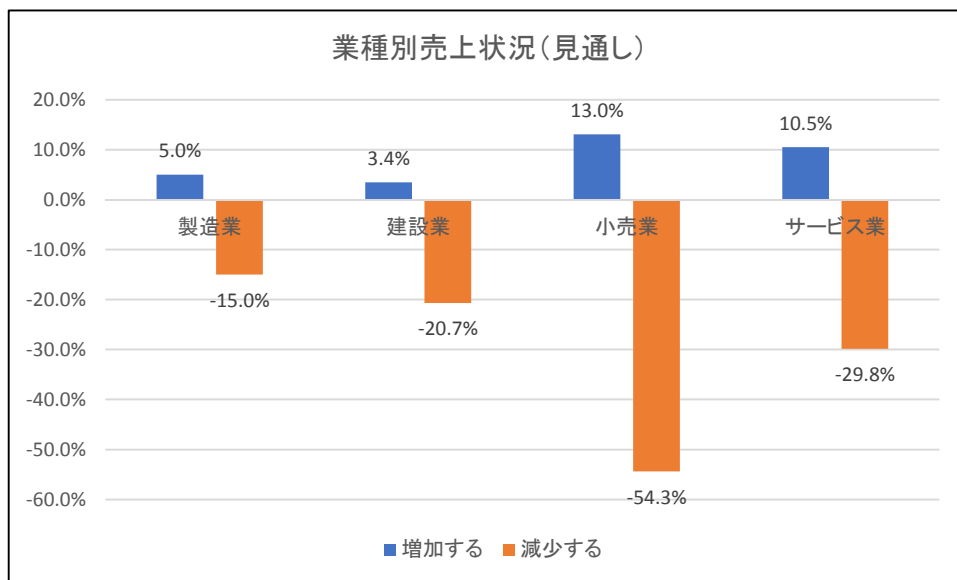


(4) <当地域の10月～12月の見通し>

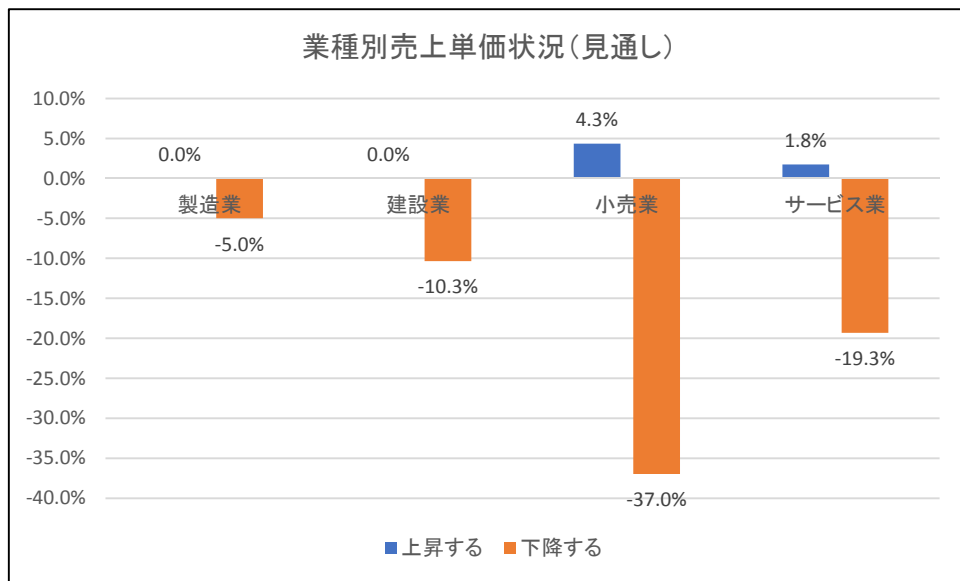
① 業況



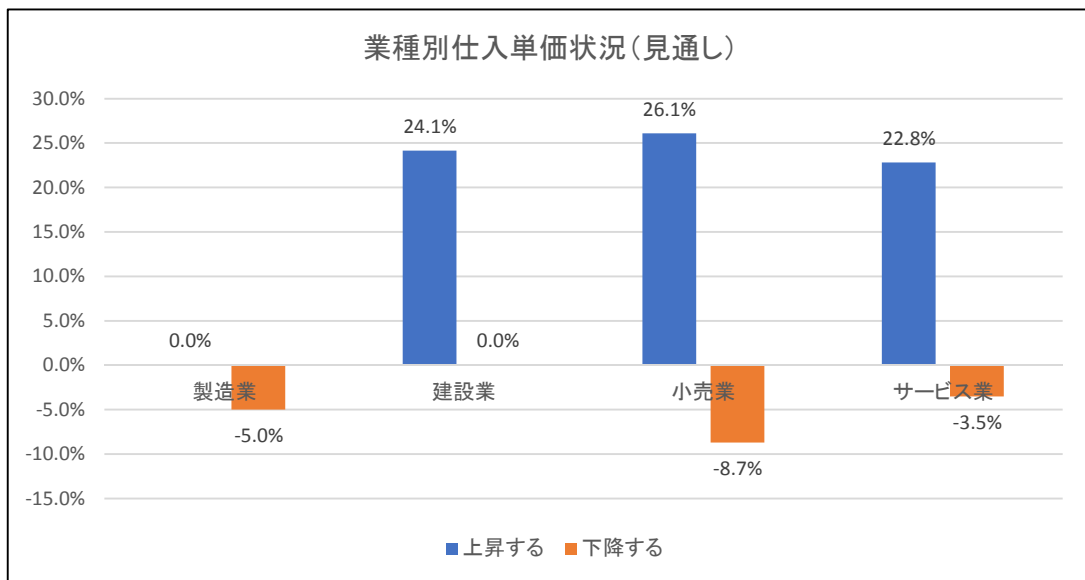
② 売上高 (加工額・完成工事額・売上額・収入額)



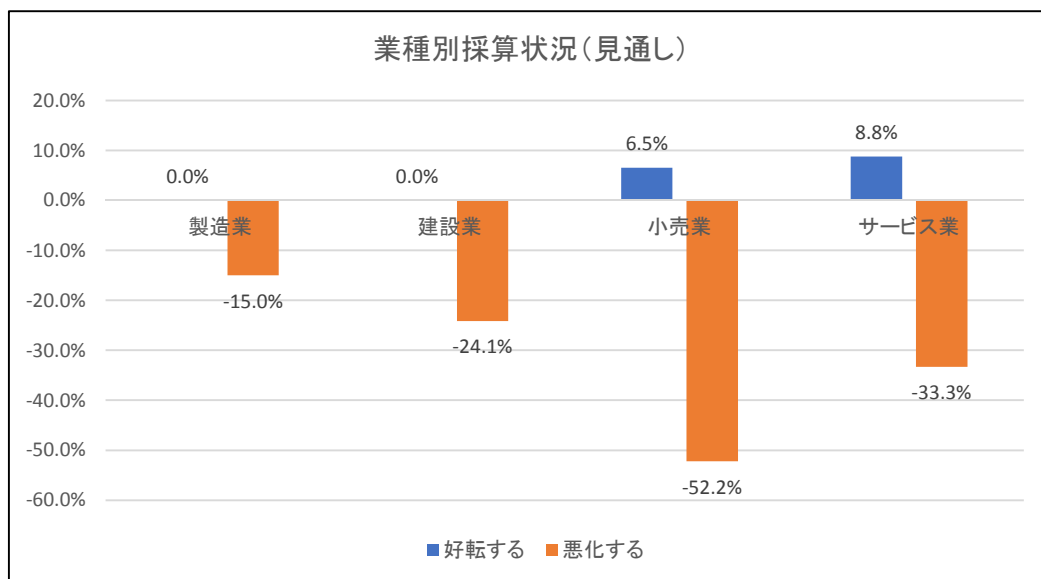
③ 売上単価（加工単価・受注額・客単価）



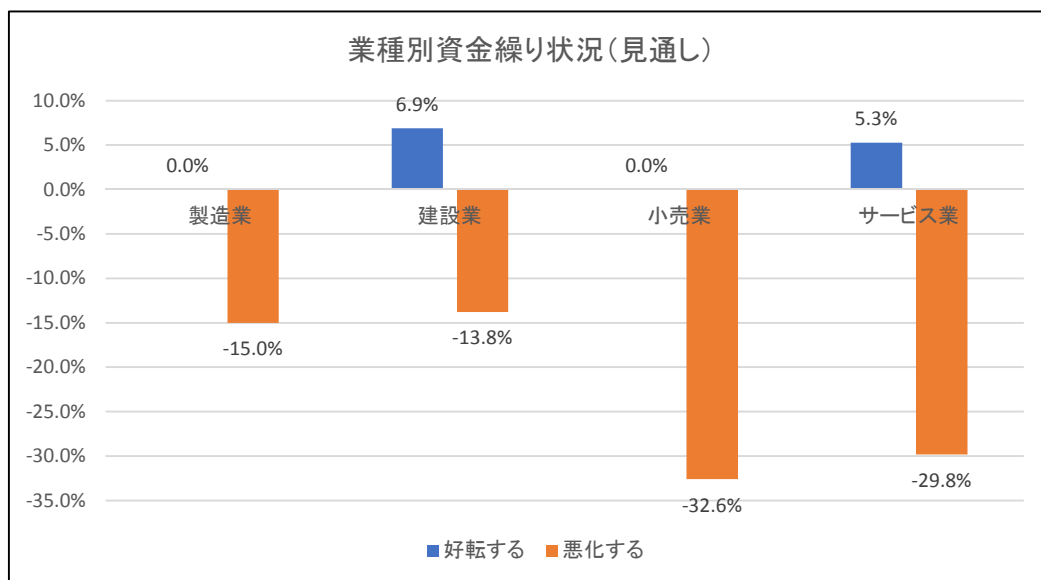
④ 仕入単価（原材料仕入単価・商品仕入単価）



⑤ 採算（経常利益）



⑥ 資金繰り



## 2 製造業

### (1) 業況概要

- ・ 県全域の業況 DI 値は 6.3 となっており、前期 6.1 と比較すると 12.4 ポイント上昇した。来期見通しは 6.1 と横ばいの見込みである。
- ・ 当地域の業況 DI 値は 5.0 となっており県全域と同程度である。来期見通しは▲10.0 となっており、15 ポイントの悪化を予想している。

### (2) 主要景況項目DI値の推移

	県全域		当地域	
	今期	来期見通し	今期	来期見通し
売上（加工）額	6.0	3.0	5.0	▲ 10.0
売上（加工）単価	▲ 3.0	0.0	15.0	▲ 5.0
原材料仕入単価	23.4	16.7	10.0	▲ 5.0
採算（経常利益）	▲ 3.0	0.0	▲ 15.0	▲ 15.0
資金繰り	3.0	3.0	▲ 10.0	▲ 15.0

#### ① 売上（加工）額（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の売上（加工）額の DI 値は 6.0 となり前期の▲12.1 から 18.1 ポイントの上昇となった。また、来期見通しは 3.0 とやや下降する見込みとなっている。
- ・ 当地域において、今期の売上（加工）額の DI 値は 5.0 となり、県全域と同程度の状況である。また、来期見通しは▲10.0 と 15 ポイントの悪化を予想している。

#### ② 採算（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の採算（経常利益）の DI 値は▲3.0 となり前期の▲9.1 から 6.1 ポイントの上昇となった。また、来期見通しは 0.0 とやや上昇する見込みとなっている。
- ・ 当地域において、今期の採算（経常利益）の DI 値は▲15.0 となり、県全域と比較すると 12 ポイント低い状況である。また、来期見通しは▲15.0 となっており横ばいを予想している。

#### ③ 資金繰り（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の資金繰りの DI 値は 3.0 となり前期の 0.0 から 3.0 ポイントの上昇となった。また、来期見通しも 3.0 と横ばいを予想している。
- ・ 当地域において、今期の資金繰りの DI 値は▲10.0 となり、県全域と比較すると 7 ポイント低い状況である。また、来期見通しは▲15.0 となっており下降傾向を予想している。

### (3) 設備投資

#### 県全域

		あり	投資内容								なし
			土地	工場 建物	生産 設備	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他	
今期実施	(実数)	7	0	2	4	2	3	0	1	0	26
	(%)	21.2	0.0	28.6	57.1	28.6	42.9	0.0	14.3	0.0	78.8
来期実施	(実数)	4	0	0	3	0	1	1	0	0	29
	(%)	12.1	0.0	0.0	75.0	0.0	25.0	25.0	0.0	0.0	87.9

#### 当地域

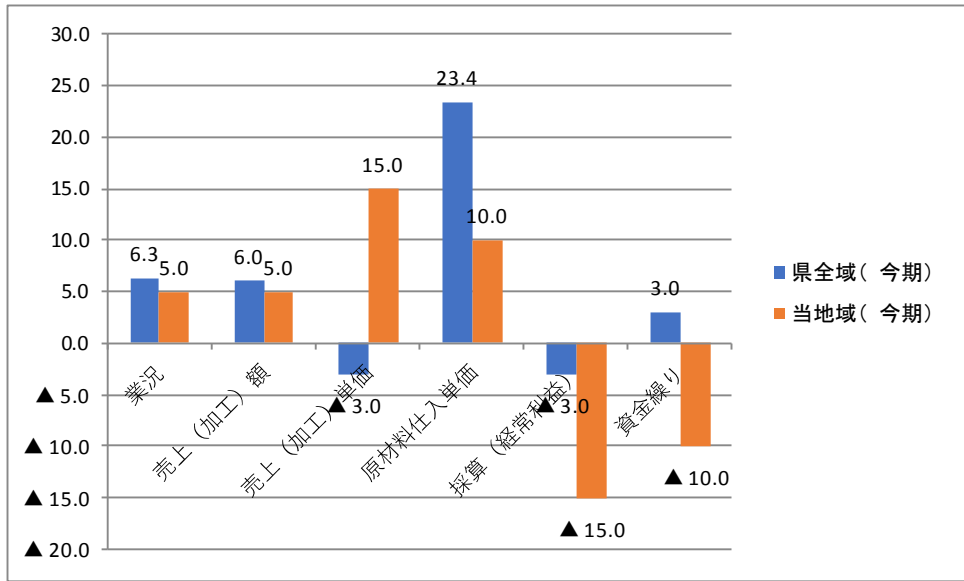
今期実施	(実数)	5	0	3	2	1	1	1	1	0	15
	(%)	25.0	0.0	15.0	10.0	5.0	5.0	5.0	5.0	0.0	75.0
来期実施	(実数)	5	0	1	3	2	1	1	0	0	15
	(%)	25.0	0.0	5.0	15.0	10.0	5.0	5.0	0.0	0.0	75.0

- ・ 県全域において、今期設備投資を実施した企業は7社（21.2%）となり、前期（平成29年4月～6月期）の実施企業7社（21.2%）と同様となった。また、来期は4社（12.1%）が新規設備投資を計画している。
- ・ 当地域において、今期設備投資を実施した企業は5社（25.0%）となり、設備投資をした企業の割合は県全域とほぼ同程であった。また、来期は5社（25.0%）が新規設備投資を計画しており、県全域と比較すると高い割合となっている。

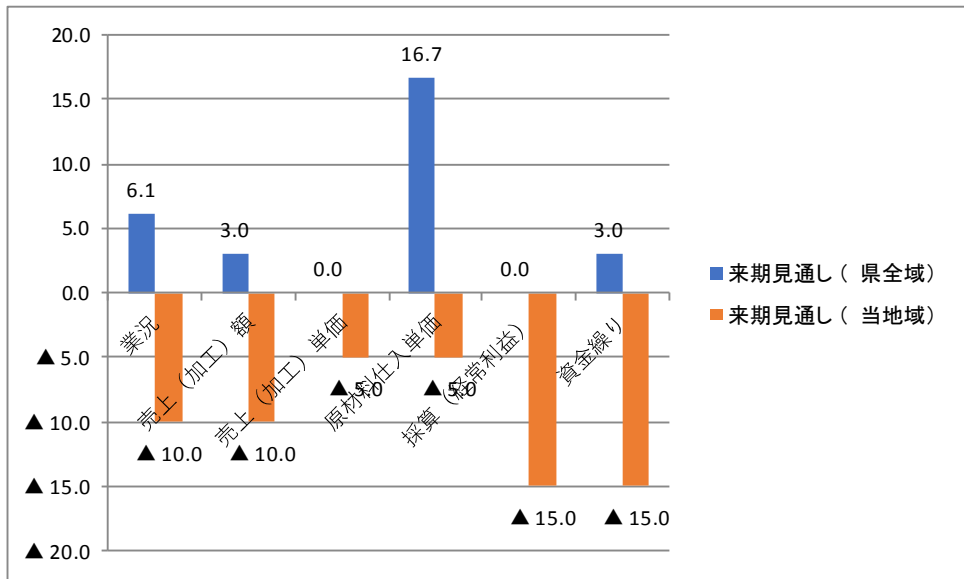
#### <コメント>

- ・ 厳しいが、頑張るしかない。
- ・ 売上1%減少。
- ・ 29年時点で経営内容の検討中。

今期の比較



来期の見通し



### 3 建設業

#### (1) 業況概要

- ・ 県全域の業況 DI 値は▲23.1 となっており、前期の▲15.4 と比較すると 7.7 ポイントの下降となった。来期見通しは▲23.1 と横ばいを見込んでいる。
- ・ 当地域の業況 DI 値は▲13.8 となっており県全域より 9.3 ポイント良い状況である。来期見通しは▲10.3 となっており、わずかではあるが回復を見込んでいる。

#### (2) 主要景況項目DI値の推移

	県全域		当地域	
	今期	来期見通し	今期	来期見通し
完成工事額	▲ 11.5	▲ 30.8	▲ 31.0	▲ 17.2
受注額	4.0	▲ 24.0	▲ 20.7	▲ 10.3
材料仕入単価	28.0	4.0	31.0	24.1
採算（経常利益）	▲ 7.7	▲ 32.0	▲ 34.5	▲ 24.1
資金繰り	▲ 23.1	▲ 38.5	▲ 10.3	▲ 6.9

##### ① 完成工事額（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の完成工事額の DI 値は▲11.6 となり前期の▲11.5 から 0.1 ポイントとわずかに下降した。また、来期見通しは▲30.8 と大幅な下降を見込んでいる。
- ・ 当地域において、今期の完成工事額の DI 値は▲31.0 となり、県全域と比較すると 19.5 ポイント低い状況である。また、来期見通しは▲17.2 と 13.8 ポイントの回復を予想している。

##### ② 採算（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の採算（経常利益）の DI 値は▲7.7 となり前期の▲15.4 から 7.7 ポイントの上昇となった。また、来期見通しは▲32.0 と大幅に下降すると見込んでいる。
- ・ 当地域において、今期の採算（経常利益）の DI 値は▲34.5 となり、県全域と比較すると 26.8 ポイント低い状況である。また、来期見通しは▲24.1 となっており 10.4 ポイントの回復を見込んでいるが厳しい状況が続くものと予想されている。

##### ③ 資金繰り（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の資金繰りの DI 値は▲23.1 となり前期の 7.7 から 15.4 ポイント下降した。また、来期見通しも▲3.4 と改善が見込まれている。
- ・ 当地域において、今期の資金繰りの DI 値は▲10.3 となり、県全域と比較すると 12.8 ポイント良い状況である。また、来期見通しは▲6.9 となっており 3.4 ポイントの改善が見込まれている。

### (3) 設備投資

#### 県全域

		あり	投資内容								なし
			土地	工場 建物	生産 設備	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他	
今期実施	(実数)	6	0	0	1	4	0	2	0	0	20
	(%)	23.1	0.0	0.0	16.7	66.7	0.0	33.3	0.0	0.0	76.9
来期実施	(実数)	4	1	1	2	0	1	0	0	1	22
	(%)	15.4	25.0	25.0	50.0	0.0	25.0	0.0	0.0	25.0	84.6

#### 当地域

今期実施	(実数)	6	0	0	2	3	2	1	0	0	23
	(%)	20.7	0.0	0.0	6.9	10.3	6.9	3.4	0.0	0.0	79.3
来期実施	(実数)	3	1	1	1	1	2	2	0	0	26
	(%)	10.3	3.4	3.4	3.4	3.4	6.9	6.9	0.0	0.0	89.7

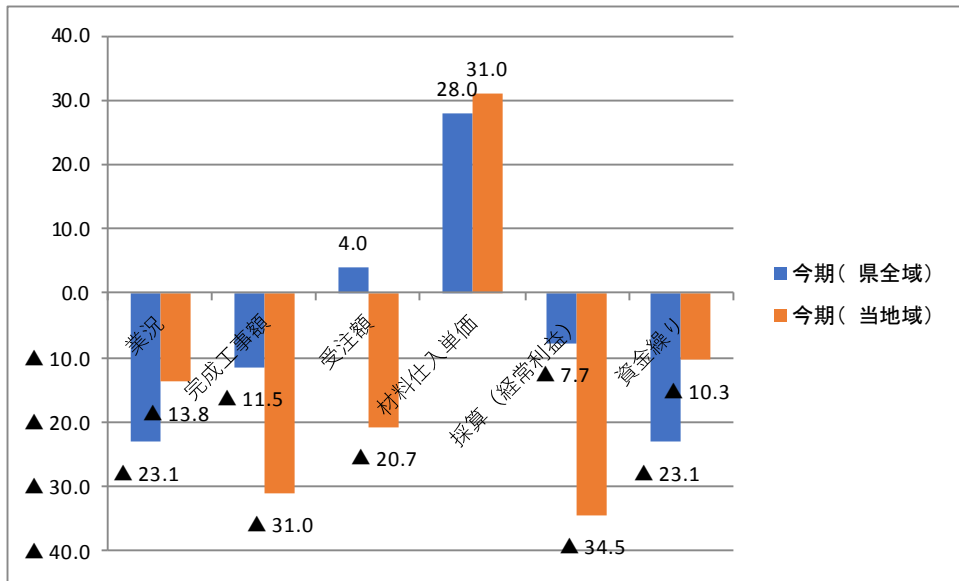
- ・ 県全域において、今期設備投資を実施した企業は6社(23.1%)となり、前期(平成29年4月～6月期)の実施企業4社(15.4%)よりわずかに増加となった。また、来期は4社(15.4%)が新規設備投資を計画している。
- ・ 当地域において、今期設備投資を実施した企業は6社(20.7%)となり、設備投資をした企業の割合は県全域とほぼ同程であった。また、来期は3社(10.3%)が新規設備投資を計画しており、県全域と比較すると低い割合となっている。

#### <コメント>

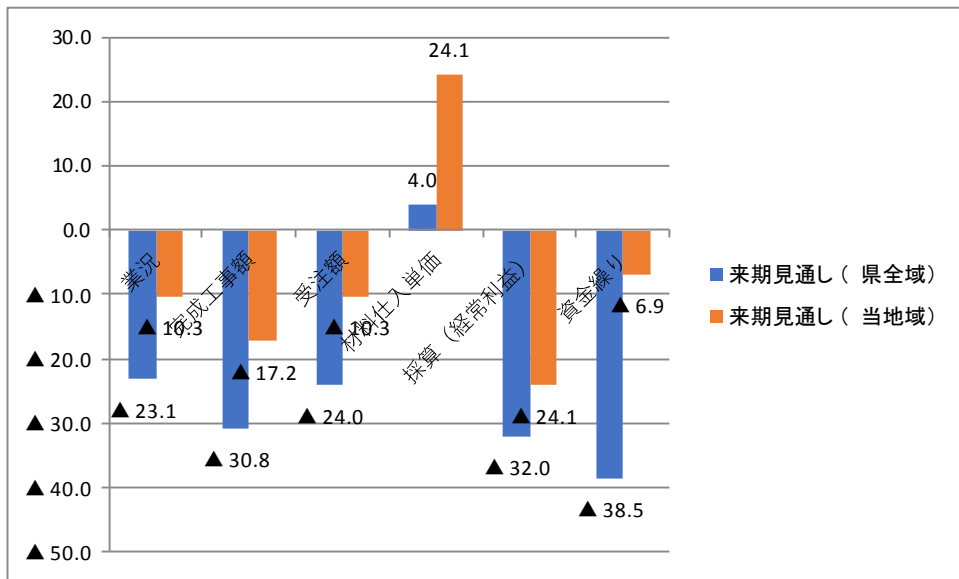
- ・ 現在のところ、仕事量と売上のバランスが取れている状況だと思います。
- ・ 営業エリアを拡大したことにより好転。取引先の選択により好転。
- ・ 売掛金が多い。
- ・ 継続者なし。借金なし。廃業予定。
- ・ 新規事業に取り組みたく進めているところですが、融資を受けることができず、先に進めません。土地、建物はあるのですが。
- ・ 個人事業だが、先は明るくない。
- ・ 今年は不景気で設備投資もできず、我慢の年です。
- ・ 人数が減ったので給料として払う分は少ないが、外泊費が多くなっているの、何ともわかりません。今のところ言えるのは、28年29年末のカードローンの借入が3641000-、29年9月末3040000-で601000円だけ+だろーと思います。



### 今期の比較



### 来期の見通し



## 4 小売業

### (1) 業況概要

- ・ 県全域の業況 DI 値は▲31.6 となっており、前期の▲10.5 と比較すると 21.1 ポイントの大幅な下降となった。来期見通しは▲25.0 とやや改善を見込んでいる。
- ・ 当地域の業況 DI 値は▲52.2 となっており県全域より 20.6 ポイント低く大変厳しい状況である。来期見通しは▲43.5 となっており、8.7 ポイントの改善を見込んでいるが、依然マイナスの数値が大きく厳しい状況が続くと考えられる。

### (2) 主要景況項目DI値の推移

	県全域		当地域	
	今期	来期見通し	今期	来期見通し
売上額	▲ 34.1	▲ 15.8	▲ 52.2	▲ 41.3
客単価	▲ 15.8	▲ 13.2	▲ 26.1	▲ 32.6
商品仕入単価	18.4	21.0	28.3	17.4
採算（経常利益）	▲ 21.1	▲ 13.1	▲ 45.7	▲ 45.7
資金繰り	▲ 7.9	0.0	▲ 32.6	▲ 32.6

#### ① 売上額（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の売上額の DI 値は▲34.1 となり前期の▲8.1 から 26.0 ポイントと大幅な下降となった。また、来期見通しは▲15.8 と改善を見込んでいる。
- ・ 当地域において、今期の売上額の DI 値は▲52.2 となり、県全域と比較すると 18.1 ポイント低い状況である。また、来期見通しは▲41.3 と 10.9 ポイントの回復を予想しているが依然厳しい状況が見込まれている。

#### ② 採算（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の採算（経常利益）の DI 値は▲21.1 となり前期の▲15.8 から 5.3 ポイントの下降となった。また、来期見通しは▲13.1 とやや改善を見込んでいる。
- ・ 当地域において、今期の採算（経常利益）の DI 値は▲45.7 となり、県全域と比較すると 24.6 ポイント低い状況である。また、来期見通しは▲45.7 と横ばいを見込んでおり依然厳しい状況が続くものと予想されている。

#### ③ 資金繰り（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の資金繰りの DI 値は▲7.9 となり前期の 2.6 から 10.5 ポイント下降した。また、来期見通しは 0.0 とやや改善が見込まれている。
- ・ 当地域において、今期の資金繰りの DI 値は▲32.6 となり、県全域と比較すると 24.7 ポイント低い状況である。また、来期見通しは▲32.6 と横ばいを見込んでおり依然厳しい状況が続くものと予想されている。

### (3) 設備投資

#### 県全域

		あり	投資内容								なし
			土地	工場 建物	生産 設備	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他	
今期実施	(実数)	6	0	1	1	1	2	1	0	0	32
	(%)	15.8	0.0	16.7	16.5	16.7	33.3	16.7	0.0	0.0	84.2
来期実施	(実数)	3	0	1	2	0	1	1	0	1	35
	(%)	7.9	0.0	33.3	66.7	0.0	33.3	33.3	0.0	33.3	92.1

#### 当地域

今期実施	(実数)	8	1	2	5	2	1	3	1	0	38
	(%)	17.4	2.2	4.3	10.9	4.3	2.2	6.5	2.2	0.0	82.6
来期実施	(実数)	12	0	2	5	5	5	7	0	1	34
	(%)	26.1	0.0	4.3	10.9	10.9	10.9	15.2	0.0	2.2	73.9

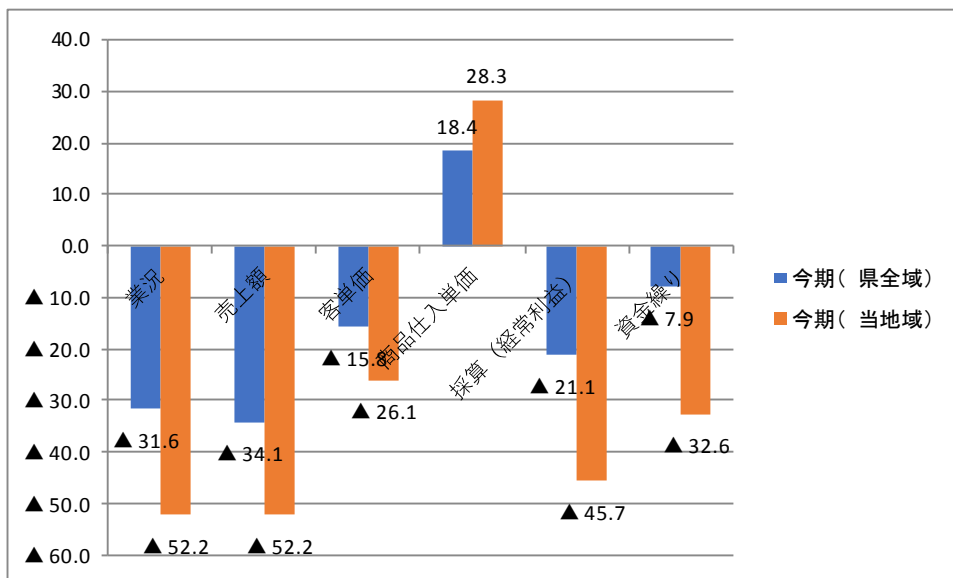
- ・ 県全域において、今期設備投資を実施した企業は6社（15.8%）となり、前期（平成29年4月～6月期）の実施企業4社（10.5%）よりわずかに増加となった。また、来期は3社（7.9%）が新規設備投資を計画している。
- ・ 当地域において、今期設備投資を実施した企業は8社（17.4%）となり、設備投資をした企業の割合は県全域とほぼ同程であった。また、来期は12社（26.1%）が新規設備投資を計画しており、県全域と比較すると高い割合となっている。

#### <コメント>

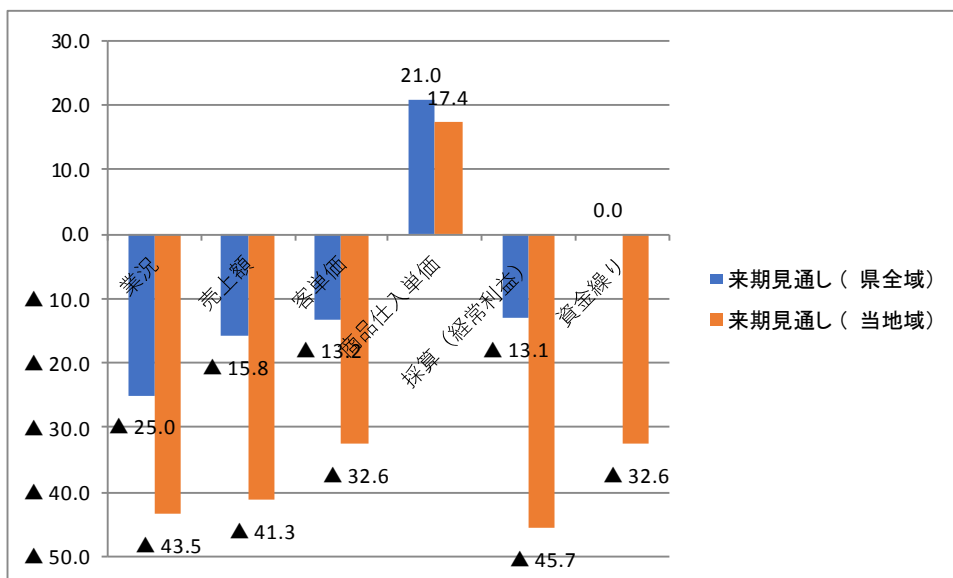
- ・ お客様の高齢化になり、売上単価も低くなり来店数が減っている。商品仕入や、経費が多くなり売り上げを圧迫している。借り入れをしても返済に追われ利益がなくなって困っている。
- ・ 得意先の廃業、死亡が多い。年商が毎年減少。
- ・ 全くと言っていいほど変化なし。
- ・ 小売から卸売に移行。小売は単価、販売点数ともにきつい。町に活力がなく、人口減が続く中、将来的には小売をやめた方が効率がいい。
- ・ 高齢化に伴い、今までの買い上げていただいたお客様も、施設に入居したり、主導権をなくし、次世代に生計をゆだね、販売しにくくなっています。田舎を訪問していると、この村はあと5年もたつと空き家が半分になる、などと悲しいことを耳にします。何とか商売を続けていくには、何でも屋をやって生きていかねばならないと思っています。
- ・ 銀行からの借入金を減らすよう努力し、売上粗利が向上した。
- ・ 年々売上高が減少していくのが懸念される。
- ・ 酒税法の改正により、利益が好転している。ピエンナーレの開催による売上の寄与が大きい。
- ・ 夫婦とも高齢になり、この先何年続くか分からない。
- ・ 年々売上高が落ち、昨年、今年は特に。このままいつまで続けられるか心配。町全体が活気がないのも心配。

- ・できることなら廃業したい。
- ・10～20年後は良くなると思うが、ここ数年は悪い。
- ・年々お客様は減少しています。
- ・売上が年々下降しているが、消費税原料でも取られ、売上げた製品でも取られ、儲けが減るばかり。なんのために仕事をしているのかわからない。
- ・業務用プリント機器を購入したいが、補助金の制度はあるが、2台目で10年以上たって具合が悪くなってきたので、取り換えたい。継続でプリントしているものが多く、壊れると困る。
- ・2年後に閉店する予定。
- ・現状維持。
- ・上昇したのはコストと人件費のみです。
- ・今年または1年くらいで店は締めようと考えてる。老人1人での小売店なので。老後の心配もないので。

今期の比較



来期の見通し



## 5 サービス業

### (1) 業況概要

- ・ 県全域の業況 DI 値は▲18.8 となっており、前期の▲7.7 と比較すると 11.1 ポイントの下降となった。来期見通しは▲7.7 とやや改善を見込んでいる。
- ・ 当地域の業況 DI 値は▲22.8 となっており県全域より 4.0 ポイント低い状況である。来期見通しは▲17.5 となっており、5.3 ポイントの改善を見込んでいる。

### (2) 主要景況項目DI値の推移

	県全域		当地域	
	今期	来期見通し	今期	来期見通し
売上（収入）額	▲ 18.9	▲ 9.4	▲ 19.3	▲ 19.3
客単価	▲ 1.9	▲ 1.9	▲ 7.0	▲ 17.5
材料等仕入単価	34.6	23.1	31.6	19.3
採算（経常利益）	▲ 28.3	▲ 13.3	▲ 35.1	▲ 24.6
資金繰り	▲ 25.0	▲ 11.5	▲ 21.1	▲ 24.6

#### ① 売上（収入）額（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の売上（収入）額の DI 値は▲18.9 となり前期の▲7.6 から 11.3 ポイントの下降となった。また、来期見通しは▲9.4 と改善を見込んでいる。
- ・ 当地域において、今期の売上（収入）額の DI 値は▲19.3 となり、県全域とほぼ同様の状況である。また、来期見通しは▲19.3 と横ばいが見込まれている。

#### ② 採算（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の採算（経常利益）の DI 値は▲28.3 となり前期の▲22.7 から 5.6 ポイントの下降となった。また、来期見通しは▲13.3 と改善を見込んでいる。
- ・ 当地域において、今期の採算（経常利益）の DI 値は▲35.1 となり、県全域と比較すると 6.8 ポイント低い状況である。また、来期見通しは▲24.6 と 10.5 ポイントの改善を見込んでいる。

#### ③ 資金繰り（前年同期比）

- ・ 県全域において、今期の資金繰りの DI 値は▲25.0 となり前期の▲19.2 から 5.8 ポイント下降した。また、来期見通しは▲11.5 と改善が見込まれている。
- ・ 当地域において、今期の資金繰りの DI 値は▲21.1 となり、県全域と比較すると 3.9 ポイント低い状況である。また、来期見通しは▲24.6 と 3.5 ポイントの悪化を見込んでいる。

### (3) 設備投資

#### 県全域

		あり	投資内容								なし
			土地	工場 建物	生産 設備	車両・ 運搬具	付帯 施設	OA 機器	福利厚 生施設	その他	
今期実施	(実数)	11	0	5	4	1	2	3	0	1	42
	(%)	20.8	0.0	45.5	36.4	9.1	18.2	27.3	0.0	9.1	79.2
来期実施	(実数)	6	1	4	2	1	1	1	0	0	47
	(%)	11.3	16.7	66.7	33.3	16.7	16.7	16.7	0.0	0.0	88.7

#### 当地域

今期実施	(実数)	12	2	4	4	3	2	2	1	0	45
	(%)	21.1	3.5	7.0	7.0	5.3	3.5	3.5	1.8	0.0	78.9
来期実施	(実数)	16	1	3	6	5	7	7	1	1	41
	(%)	28.1	1.8	5.3	10.5	8.8	12.3	12.3	1.8	1.8	71.9

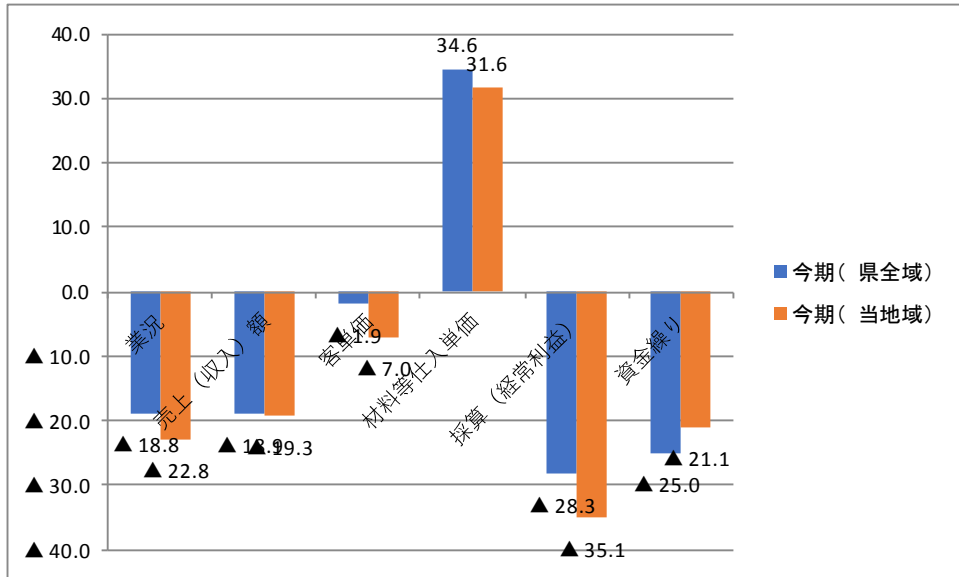
- ・県全域において、今期設備投資を実施した企業は11社（20.8%）となり、前期（平成29年4月～6月期）の実施企業8社（15.1%）よりわずかに増加となった。また、来期は6社（11.3%）が新規設備投資を計画している。
- ・当地域において、今期設備投資を実施した企業は12社（21.1%）となり、設備投資をした企業の割合は県全域とほぼ同程であった。また、来期は16社（28.1%）が新規設備投資を計画しており、県全域と比較すると高い割合となっている。

#### <コメント>

- ・人材不足により営業状況が悪化。
- ・大変悪化しています。
- ・景気が向上しているという意見があるが、大企業の業績は向上していても、賃金に反映していないのか、巷へのお金の流れが良くなっていない。余るほどのお金を持っている公務員の人たちは生活が地味で、世の中にお金が回っていない。
- ・設備投資については小規模な事業のため、計画立案に対しては行えない。その時々状況判断に基づき実施していく。
- ・現段階では順調です。
- ・従業員の確保が厳しくなっている。人件費が上がって、利益を圧迫している。
- ・今のところ79歳で1人でやっているの、先のことは分からない。
- ・人件費、福利厚生費など、固定費の上昇に売上増がついていかない。
- ・休みを多くとったのでこんな具合だと思う。
- ・店内の改装及び、トイレの改造を行ったため、資金繰りは大変ですが、足の悪くなったお客様、お子様には喜ばれる。このことが集客になればと思っている。経営状況が良くなることは期待しないし、無理だと思う。飲食業は大変だと思う。

- ・資金の返済が一通り落ち着き、見通しができるようになった。
- ・現時点では安定している。
- ・やや好転の兆しが見える。
- ・現状を維持しているだけ。
- ・事業の拡大等、色々したいのですが、労働力確保できないため、拡大どころか少しずつ縮小するばかりです。

### 今期の比較



### 来期の見通し

